提出された意見等の概要とこれに対する考え方

案件名　　：第12次兵庫県職業能力開発計画案
意見募集期間　：令和8年8月3日～令和8年8月24日まで
意見等の提出件数：5件（2人）

項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
第2章　3（1） 人材ニーズに関する環境の変化と課題	AIを使いこなせる人材を育成するだけでなく、人にしかできない技術やコミュニケーション能力を高める取組も大切にしてほしい。日本の伝統技術の継承が途絶えたり、後継者不足とならないように取り組んでほしい。	1	**【本文の趣旨と一致】** AI等のデジタル技術を活用できる人材の育成を推進するとともに、AI等では代替が困難な人間固有のスキルや熟練技能の重要性を踏まえ、新たな技術への対応と技能継承の両面から人材育成を進めてまいります。（P16）
第3章　3（1） 一人ひとりに応じた職業能力開発の支援	外国人の方が兵庫県で長く活躍できるよう、仕事に関する支援だけでなく、日本語学習や地域住民との交流など、生活面でのサポートも充実してほしい。安心して働き続けられる環境づくりが、人材の定着につながると考える。	1	**【本文の趣旨と一致】** 少子高齢化の進展や人手不足が深刻化し、外国人材は県内産業や地域社会を支える重要な担い手であると認識しております。（P20） 外国人向けの技能検定試験の円滑な実施や、日本語教育支援、地域間交流推進人材の育成、多言語による情報提供や相談体制の充実など、生活者としての支援体制を構築してまいります。 また、外国人が安心して就職・定着できる環境が整った企業を認定する「ひょうごグローバル人材活躍企業認定制度」の普及促進を図るため、認定企業のメリットを充実いたします。（P29～30）
第3章　5 公共職業能力開発施設における取組の充実	訓練校などにおいて職業訓練をされているが、理系人材を育てる、理系への学び直しができる訓練を強化してはどうか。	1	**【本文の趣旨と一致しているが、一部反映】** 本県では、公共職業能力開発施設5校を拠点として雇用のセーフティネットとしての職業訓練として、施設内訓練、委託訓練、在職者訓練を地域の求人・求職者ニーズを踏まえ実施しています。 いただいたご意見のとおり、文系人材への理系分野の訓練や在職者への理系分野の訓練などのリスキリングの強化は重要と考えており、一部本文へ反映しました。（P23、35） 今後も計画に基づき、求人・求職者ニーズに合わせた職業能力開発を推進してまいります。
第4章　2 情報発信	職業能力開発の取り組みについて、知らない人も多いと思うため、情報発信に努めていただき、将来に不安を抱える人たちに学び直しや資格取得の機会を提供していただきたい。	1	**【本文の趣旨と一致】** 訓練校の情報発信力の強化を図るとともに、対象者に必要な情報が的確・確実に届くよう対象者の年代層に応じた情報の「個別化」を図り、各関係機関との連携を進めてまいります。（P42～43）
計画全般について	計画を拝見し、働く人の学び直しやスキルアップが今まで以上に大切になると感じた。時代の変化が早い中で、学生だけでなく社会人も継続して学べる環境づくりを進めてほしい。	1	**【本文の趣旨と一致】** 本計画においても、技術革新や産業構造の変化、AI等のデジタル技術の進展に対応するため、学生だけでなく在職者を含めた幅広い世代の職業能力開発やリスキリングの推進を重要な施策として位置付けております。 またいただいたご意見のとおり、社会環境が大きく変化する中、誰もが必要に応じて学び直しや能力向上に取り組めることは重要であると考えております。 今後も計画に基づき、継続的な学びを支援する取組を推進してまいります。